



写真 529. 「リンゴバス停」有り



写真 530. 「諫早湾干拓北部排水門」

この先に、色々と問題になった「諫早湾干拓堤防道路」がある。やはり、ここは通つてみたい究極の海岸線。標識に「国道 251 堤防道路」と案内のある交差点を左折すると、程なく「諫早湾干拓北部排水門」が見えてくる。



写真 531. 諫早湾干拓堤防道路(1)



写真 532. 「諫早湾干拓堤防道路」(2)

堤防道路中頃に、「雲仙多良シーライン展望所」があるが、雲仙岳は雲に覆われていたので、止まらずに通過した。この堤防道路は、「雲仙多良シーライン」という洒落た名前があるようだ。



写真 533. 雲仙多良シーライン展望所



写真 534. 「雲仙多良シーライン」歩道橋

「南部排水門」を過ぎたら、有明海沿いの国道 251 号に出て、島原半島を 1 周する。海岸線を走る快適な国道は、対岸の熊本県の長洲に渡るフェリーが出る多比良港を過ぎると、石材店の巨大な五円玉のモニュメントが現れたり、景色を楽しませてくれる。残念なのは、晴れているのに、遠くの雲仙岳だけが雲に隠れていたこと。



写真 535. 「南部排水門」



写真 536. 国道 251 号



写真 537. 多比良港フェリーターミナル



写真 538. 島原石材店の巨大 5 円玉



写真 539. 雲仙岳だけ雲の中



写真 540. コンビニでクールダウン

気温もどんどん上がり、ローソン島原大手原町店で、水分補給休憩。バイクの温度計は、36℃を示していた。



写真 541. 36°Cを走るのは辛い



写真 542 伝説の巨人「みそ五郎」の像

国道沿いの南島原市役所西有家支所の屋根の上に、長崎の伝説の巨人「みそ五郎」の像が現れる。ちょうど国道が高架で高くなっていて屋根の上の像と視点が同じ高さなので目に付いてしまう。山に腰掛けているところなど、全国に伝わるデイラボッチの伝説と似ている。

少し先で原城址に寄ってみた。幼少期に島原城を訪れた私は、ずっと原城を島原城の有る地に復元した物と勘違いをしていたので、今回是非訪れてみたかった。しかし、海に面した原城の跡には、ほとんど何も残っていなかったので、少しがっかりした。VRで見れるようであったが、炎天下暑くてゆっくり見る気がしなかった。



写真 543. 原城跡



写真 544. 原城本丸跡



写真 545. 海に繋がる場内の道



写真 546. 人の顔に見える「両子岩」

島原半島の西側まで国道 251 号を一気に走ると、人の顔の形に見える「両子岩（ふたごいわ）」が見えた。かつては、もう一つ並んでいたようだが、崩れてしまったそうである。しばらく行くと、雲仙小浜温泉街を通る。老舗の「浜観ホテル」が立て直して解体中だった。町中も老朽化した施設が多い。しかし、観光案内所はおしゃれな建物だった。景気はどうなのだろう？その先の富津地区に空海が六角の杖で示した場所から沸いた、海岸にあるのに淡水の「六角井戸」があるので見学した。この井戸は、だいぶ修復の手が加えられているので、大事にされていることが分かる。



写真 547. 「浜観ホテル」解体中



写真 548. おしゃれな観光案内所



写真 549. 空海にまつわる「六角井戸」



写真 550. 「六角井戸」の説明板



写真 551. 手前のギザギザは水汲みの跡らしい



写真 552. だいぶ修復されているようだ

引き続き国道 251 号を進み、島原半島の付け根にある「愛野展望所」で休憩。とにかく、この島原半島周辺は、湿度が高いのか、蒸し暑く景色も霞んでしまっている。国道 251 号は、ジャガイモ畠の間を比較的まっすぐ延びている道で、一部若干内陸を走る。東長崎で県道 34 号と交差したら、県道を海岸に沿って南下する。



写真 553. 「愛野展望所」は霞んでいた



写真 554. この辺は、ジャガイモ畠が多いらしい



写真 555. 直線部分が多い国道



写真 556. 天然記念物「太田尾の大クス」

途中県道沿いの天然記念物「太田尾の大クス」を見物。普通に走っていると見逃す地味な天然記念物だった。宿のある茂木で給油し、コンビニで明日の朝飯を買った。茂木と言えばビワが有名だが、もう収穫は終わってしまったようである。茂木港のすぐ先に本日の宿「NAGASAKIHOUSE ぶらぶら」は有った。



写真 557. 宿の前の海



写真 558. 宿外観と部屋からの眺め

海辺で景色の良いゲストハウス。本日の受付の女性が、私の地元出身の人が、ローカルな会話をしました。



写真 559. 島原半島と挟まれた穏やかな海

シャワーを浴びてから、夕食に出かけた。近くに原爆の慰霊碑があった。爆心から一山越えたこの辺りは逃げてくる被災者の救護で大変だったようだ。夕食は事前に目星を付けていた「いけす料理 元祖川正」に行った。「活き作り定食」と地酒を頼んだ。今日の魚は、鯛で地酒は波佐見町の「六十餘洲」。どちらも最高に美味しかった。2,570 円也。



写真 560. 原爆慰霊碑



写真 561. 「いけす料理 元祖川正」



写真 562. 「活き作り定食」と「六十餘洲」



写真 563. 本日の活き作りは鯛です

次ページ (10_1) https://kurotora2.michikusa.jp/event/2025_Kyushu/2025_kyushu_10_1.pdf